

## &lt;支部・準支部だより&gt;

## JDSの仲間たち

No.17 千葉旭支部  
(あさひのつどい)

## ● あゆみ

千葉旭支部は1991年1月、旭中央病院の医師・看護師・近隣の保健師さんたちの働きかけで開催された講演会がきっかけで誕生。そのときに集まったダウン症のある人と親たちの座談会で立ち上げられました。

『あさひのつどい』という会の名称は、「ダウン症のある人に太陽の光が当たるように…」との意味合いと「旭市」の地名にちなんで、名付けられました。

## ● 活動

年間の活動内容は、総会・夏遊び・おしゃべり会・クリスマス会・新年会・役員会です。

【夏遊び】自然の中での川遊びや流しそうめん、旬のお野菜や果物をいただいて、体もお腹也大満足します。

【おしゃべり会】さまざまな年齢が集まるので、お兄さん・お姉さんは小さい子の面倒をととてもよくみてくれて、困っている人には優しく手を差し伸べてくれます。子ども同士で遊んでいる間に私たち親は、近況報告や悩みを相談し合う等、貴重な時間を

てます。

【クリスマス会】美味しい食事をいただきながら楽しい会話がはずみ、手品やゲームなどをして盛り上がります。また、恒例のプレゼント交換は、どんなプレゼントがもらえるのか、自分の用意したプレゼントがどのお友達へ届くのか、ワクワク・ドキドキのお楽しみコーナーです。

●●●●●

昨年は、あさひのつどい25周年を記念して、療育塾ドリームタイムを経営しておられる作業療法士の木村順先生に講演をしていただきました。

先生独自の指導法や歯に衣着せぬ語り口調に、驚きながらもとても貴重で充実した時間を過ごすことができました。

当初予定していた人数を大幅に上回る盛り上がりの中、無事に終了。先生のご厚意で講演終了後に行われた相談会では、長蛇の列ができましたが、先生は一人ひとりに真剣に向き合ってください、時間ギリギリまでお付き合いくださいました。

## ● 支部長より



宮澤 直子

昨年5月に支部長を交代しました。まだわからないことばかりで頼りない私ですが、先輩方が築き上げてくださったものを大切に、引き続き会員みなさんに支えていただきながら頑張っていこうと思います。

支部の対象地域が広いため、活動に参加するのが大変な会員の方々もいるので少人数での活動が主ですが、そのぶん、アットホームな関係が築けています。これからも人と人の繋がりを大切に感謝しながら、ダウン症のある人とその家族が、いつまでも笑顔でいられるように支援していきたいと思っています。

- ◆ 支部長：宮澤 直子
- ◆ 支部会員：29家族と特別会員4名
- ◆ 設立：1991年
- ◆ ご本人の年齢：1歳～31歳
- ◆ 対象地域：旭市周辺と茨城県南部
- ◆ 連絡先：TEL 090-2315-7834  
FAX 0479-62-0596



「おしゃべり会」では「お姉さん」たちが小さい子の面倒をみてくれます！